



矢野 昭三 議員

慰霊碑整備

遺族会との協議は 総合的に判断し実施

問 6月議会以後、遺族会とどのような協議を行ったか。

また未帰還者は何名か。行政が石碑、慰霊碑等の維持管理を先頭に立ち行う事は当然だ。更に各部落に建立する石碑等を守り平和を願う公園条例を制定するか問う。

答 大西町長

平和を維持していく活動に寄与できる姿はどうあるべきという点で議論をしている。

戦後70年余りを振り返りながら次世代へ平和をお伝えし、英霊の継承をしていく。こういった事を包括的に取り組んでいくか各遺族会へお伝えをしている。方向性がまとも結果として条例が必要であると判断すれば検討を開始する。



平和の礎

福祉政策

在宅医療・介護は

社会福祉協議会と一体で

問 2025年、2030年へ向けて社会福祉協議会等の強化を図るのか

答 川村 健康福祉課長
在宅医療は、看護体制が整った。介護は、初任者研修修了者が専門職として活躍して頂きたい。今後も、社会福祉協議会と共に取り組む。

港湾整備

泊地の 漁船を守れ 静穏度対策に 取り組む

問 漁港に避難している漁船が大変傷んでいるが、対策は。

答 今西 海洋森林課長
漁港内の静穏度対策は、大変重要な課題と認識している。県は鹿島防波堤の先端部の沈下が有り、機能回復を図るべく来年度予算で国へ要求している。



急がれる先端の復旧工事

地域整備

空き家対策 計画は

来年度
見直し行う

問 空き家などに関する施策を総合的、計画的に実施するための基本的な趣旨に沿った見直しは。また、佐賀漁港内の排水口の改善計画を問う。

増加している。来年度空き家計画を見直す。



佐賀漁港の排水口

山林の評価

見直しを 考える するか

答 金子 まちづくり課長
所有者による適正な管理が困難となる空き家が

答 今西 海洋森林課長
漁港内の排水口計画は、来年度の採択を目指し情報収集を進め、検討している。

問 山元の立木価格が低下する中、昭和41年1㎡当たりの評価額2円、現在は13円で、そのほかの公租公課も上昇している。見直しをするか。

答 松田 固定資産評価員
地区ごとに標準的な土地を選定してその時価、売買実例等により比準して各筆の評価を行う。土地に定着している立木等は考慮していない。斜面や土層の厚さ道路からの距離等変動がなければ山林の単価は変動しない。今後の見直しについては考えていない。